

南町一丁目だより

発行日 平成27年12月15日
発行者 南町一丁目自治会
編集者 広報編集委員会
電話 221-2728（谷中）

第24号

自治会長挨拶

去る10月10日（土）、11日（日）の両日おこなわれました「南町一丁目祭り」に際しましては、町内皆様の多大なるご協力により盛大におこなうことができました。

10日の午前中は小雨のため若干の山車運行ルートの変更をさせていただきましたが、事故もなく無事終了することができましたこと厚く御礼申し上げます。

また、直近の行事といたしまして、町内でも空き家が目立つようになりましたので、年末にむけて事故のないように12月25日（金）～30日（水）まで、夜7時より「防犯パトロール」をおこないます。夜間お騒がせするかとおもいますが、なにとぞご理解賜りますようお願ひいたします。

（自治会長 根岸 貞夫）

南町一丁目祭り（前橋まつり協賛）特集



練習を重ねるごとに上手に

今年、2回目の実行委員長を務めさせていただきました。今年も、昨年同様天候に恵まれ、たいへん良い、楽しい南町一丁目祭り（前橋まつり）が開催できたと思います。

一ヶ月前頃からお囃子の練習が始まりましたが、上級生が少なく、下級生の1年生、2年生が多い中の練習でした。しかし、練習を重ねるごとに下級生も上手になり、安心しました。

年々、山車が改造され、今年は、町に冷たい飲み物を運ぶリヤカーを改造してもらいました。来年もどんな改造があるか、楽しみにしています。

祭りの準備から始まり、片付けに至るまで各団体のかたがたのご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。祭りの実行も、たくさんのご協力を得て、事故や怪我も無く無事に終えることができました。本当に、心から感謝しています。南町一丁目祭りは、各団体のご協力無しでは、運行できませんので、これからも、本当にご協力をお願い申し上げます。

簡単ではありますが、挨拶、感想、ご協力のお礼とさせていただきます。ありがとうございました。
(実行委員長／成年会会長 齋藤 武)

前橋祭り

今年度も前橋祭りが無事に終わり、たくさんの方々にご協力頂いた事を感謝申し上げます。

子供は6年生として、私は育成会の会長としてお祭りに参加することができ、たいへん良い経験ができたと思います。8回目のお祭りで初めて山車の先頭を歩かせて頂き、気付いた事があります。まず、一つ目は、練習の成果で、自信を持って太鼓をたくち子供たちの姿です。はっぴも着ているせいか、とても頼もしい姿にうれしくなりました。自治会や成年会の皆様には、太鼓の



練習やお祭りの準備など大変お世話になりました。町内パレードの時に山車警護のために常に注意をはらって頂いた保護者の皆様、パレードが終わり、お祭り広場に帰ると拍手で迎えて下さった地域の皆様や模擬店を手伝ってくださったお母さんたち。皆様のおかげで安心してパレードもでき、終わるとホッとしてとてもあたたかい気持ちになりました。本当に、

たくさんの方々に支えられていることに気付き、感謝の気持ちでいっぱいです。来年からは私もお手伝いしながら、前橋祭りに参加できたらと思います。
(子供育成会会長 齋藤 恵子)

前橋祭りに参加して

育成会に参加し、3度目の秋祭りを無事に終えることができ達成感を感じる反面、一大イベントが終わってしまった様な少し淋しい気持ちもあります。自分が子供の頃と同じ山車に我が子が乗り、太鼓や鉦を楽しむ姿に、日頃から練習を支えてくださった地域の方々への感謝も絶えません。我が子においては、急け心もありつつ、楽しみと、伝統行事に参加できることへの喜びを毎日胸いっぱいにして練習へ向かっておりました。

当日は二日とも、いつもよりも朝早くからテンションも高く、髪を結い法被を着て準備もばっちり。昨年より一サイズ大きい法被を着た姿に成長を感じた朝でした。長女は3年になり、太鼓をたたく姿勢や笛にも興味がわいてきた様子で、ただ叩けば良いわけではないという事が少しずつ分かってきたようです。1年の次女は山車の上に乗ることが嬉しくてたまらない、といった感じでした。昨年は市街まで歩けず泣き顔でしたが、今年はしっかり歩いていくことができました。これもまた成長を感じるものでした。二人同時に山車へ乗せていただくこともあり、家では喧嘩ばかりの姉妹が協力する姿も見られてとても嬉しく思いました。今回、年齢・学年に関係なくふれ合い、楽しむ姿が何より嬉しく幸せだと思いました。来年はどんな成長を見せてくれるのか、今から楽しみです。

(子供育成会 桑原 圭子)

お祭りに参加して

夏の終わりを告げると同時に聞こえてくるお囃子練習の音。毎年、その音が聞こえてくると、「もうすぐお祭りだよ」と子供たちに話していました。

憧れの太鼓の練習に参加ができた長女ですが、なかなか思う様に叩けず、バチが回せず涙する事がありました。練習の応援に来てくれた近所の中学生のお姉ちゃんに教わったり、お風呂の中で練習したり、頭の中はお囃子の曲でいっぱいの様でした。

当日を迎え、初めて袖を通す法被に、子どもたちも親も気が引き締まりました。楽しみな気持ちでいっぱいの長女と、下の子二人を連れて大丈夫だろうかと心配な親。しかし、周りの方々が常に気遣って下さり、家族みんなで楽しんで参加する事ができました。

少しずつ日本の風習が薄れたり、地域の方々との繋がりもなくなってきたと言われていますが、こういうお祭り、お囃子、地域の方々との繋がりは、いつまでも大切にしたいなと、改めて感じました。

練習から一ヶ月ちょっと、「辛いな…」と感じる事もありましたが、それ以上のものを親子共々得られたと思います。また来年が楽しみです。

(子供育成会 岩崎 伴絵)

貴重な経験

トヒヤラー　トヒヤラー　ウーヒヤララー

きれいな美しい笛の響き

テケテン　テケテン　テケツクテン

力強い太鼓のリズム

毎年、この調べを聴いて、感動していた前橋祭りのおはやしに、今年は、初めて、参加させていただきました。最初、とても緊張して、練習に臨みましたが、おはやしの先生方が、とても分かりやすく、優しく教えてくださったので、すぐに覚えることができました。家でも、一生懸命に練習して、力強いよい音が出せるように頑張りました。

本番の日は、法被を着て、鈴をつけて、衣装を整え、メイクをしていただいたりするうちに、気持ちがどんどん高まっていきました。みんなと心を合わせて、協力して頑張りました。

私にとって、最初で最後のおはやしでした。教えてくださった先生、保護者のみなさんおかげで、しっかりと覚えられました。この曲は今でも耳に残っています。

とても貴重な経験をさせていただきました。多くの方たちに、温かく見守っていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。どうもありがとうございました。

(6年　伊藤　綾香)



たのしかった前ばしまつり

一ヶ月間たいこのれんしゅうをして、大へんだったのがふえと音を合わせるところでした。バチをまわすのはうまくできました。

おまつりの日のあさ、たのしみで早起きをしました。山車にのるじゅんばんが自分にまわってきたときとてもうれしかったです。いらっしゃうけんめいたきました。

山車を歩いてひっぱるときは、たくさん歩くので足がつかれていたくなりました。それでもがんばって歩きました。いろいろな人が見てくれてとてもうれしかったです。

らい年はもっともっとじょうずになって、またおまつりに出たいとおもいます。そのときは、かねもやりたいです。

(たかはし　りん)

はじめておまつりにでて

9月8日、はじめてたいこのれんしゅうにいきました。おにいさんやおねえさんはとてもじょうずに、かっこよくたいこをたたいていました。わたしもいっぱいれんしゅうをしてじょうずになりたいとおもいました。さいしょはじょうずにたたけなかつたけど、しどうしゃのかたがたにいっぱいおしえてもらって、いっぱいれんしゅうをしてじょうずにたたけるようになりました。バチをまわすのがいちばんむずかしかつたけど、じょうずにまわせるようになりました。

おまつりは10月10日、11日ありました。みんなでたいこをたたいて、だしをひいて、いっぱいあるきました。くるまがはしるどうろをだしをひいてあるいて、ドキドキしました。いろいろな人がそとにでてみててくれてうれしくて、すこしはずかしかつたです。ケアセンターのおじいさんとおばあさんにもみてもらいました。ニコニコわらっていて、はくしゅをたくさんしてくれました。うれしかつたです。



いっぱいたいこをたたいて、いっぱいだしをひいてあるいてつかれたけど、またらいねんもたいこのれんしゅうをいっぱいしておまつりにでたいです。 (ながおか りん)

お囃子練習 きびきびと

9月の中頃から約一ヶ月間、子供たちのお囃子練習が集会所で続けられた。子供たち20人～30人、保護者の方12、3名が集い、午後7時から約1時間半、みっちりと練習に励んでいた。



指導は今井さん、恩田さん、それと成年会の皆さんだ。

指導者の皆さんへ、「よろしくお願ひします」で始まり、最後に「ありがとうございました」で締める。挨拶の声がそろって、凜々しい。10分の休憩を挟んで、3回ほど、熱心に練習に取り組んだ。

お囃子はピッタリ揃わないとダメ。力強さも要求されるが、笛、太鼓、鉦、だけではなく、所作、掛け声がきびきびと一致しないといけない。ばらばらにならないように、「一体感」を演出するのが指導の難しいところ。子供たちも、熱心な指導宜しく、日を追ってその「一体感」を体現してゆく。

練習後のあと片付けもきちんとしていて気持ち良い。礼儀正しさも同時に学ぶ、そんな練習風景だった。

ラジオ体操は‘すぐれもの’

今年も、夏休みの7月21～29日、一中の校庭をお借りして、子供達が元気にラジオ体操を行いました。連日の猛暑の中、子供25名、保護者15名、その他10名ほどが集い、ラジオ体操第1、第2で心地よい汗を流していました。



「夏休みに入って子供と一緒にラジオ体操で憂鬱」なんて言うお母さんはいらっしゃらないでしょうか？ 実はラジオ体操は簡単にできる全身運動で、その効果は女性に嬉しいものばかり！

ラジオ体操第1、第2とも、時間にして3分15秒程度。短い時間にまとめられていますが、それぞれ13種類ものエクササイズで構成されており、ひとつおり行うと、

有酸素運動、筋トレ、ストレッチ、バランス運動と、総合的な運動ができる内容になっています。これには肩こり予防、血流促進、便秘改善などをはじめ、大人にうれしい効果がいっぱい。血行が改善されると末梢循環も良くなるので、冷えなどの症状も改善される可能性があるそうです。

(ラジオ体操第一、第二を続けて行うことにより、約30kcalの消費が見込まれるだけでなく、血行も良くなり基礎代謝もアップ。続ければダイエット効果も期待できるとのことです。)

出典：ウェブ「NAVIERまとめ」、「実はすごい！大人のラジオ体操」中村格子著 講談社、「ラジオ体操ハンドブック」浜田靖一著 ビネバル出版（両著とも前橋市立図書館にあり）。

子供らの歌に囲まれ 敬老祝賀会

27年度敬老祝賀会が、9月21日（敬老の日）に、一丁目集会所で開かれました。町内の最高齢者は95歳、75歳以上の方が104人いらっしゃいます。

長雨が上がり、秋風が心地よい一日、敬老会には29名の方が出席（スタッフを含め、55人の参加）。自治会長や、寿会会长の今井さんが、挨拶の中で「健康寿命をできるだけ長く」、「町内おたがいに仲良くいたわりあって」と強調されていました。会食後には、育成会の子供たちによる「夏の思い出」や「ふるさと」の合唱、bingoゲームなどの余興で、会場は大いに盛り上がりました。

来年も、敬老会で元気に再会しましょう。



育成会の子供たち 20 名による合唱（敬老祝賀会）

南部地区グラウンドゴルフ大会

9月19日（土）、南町公園で、秋の南部地区グラウンドゴルフ大会が開かれました。6町72名の選手が集合し、日頃の練習の成果を競い合いました。

長雨の後の快晴。試合前の準備体操で軽く汗を書いた後、南・北二つのグラントに別れ競技が開始しました。闘志を内に秘めるものの、お互いいたわりあいながら、終始和やかな雰囲気で試合が進行していきます。

結果は南町4丁目が優勝。ホールインワン賞が全部で8人出ましたが、そのうち2人が南町一丁目で、真柄さん、大沢さんでした。



健闘をたたえあう

いきいき長生き教室 笑ってピンシャンみんなで体操

小春日和の10月20日(火) 一丁目集会所で、5回目の「いきいき長生き教室」が開催されました。毎回おなじみの介護福祉士さん(シャリティ工前橋)による座って行うピンシャン体操、ストレッチ運動から始まりました。何度もやっても難しい両手・両指の運動、「若い人ができるないよ～～」と言われ大爆笑。笑いを誘われ緊張もほぐれ手足が少し軽くなったところで、秋の花、秋の七草などの思い出しクイズにスラスラ答える参加者がいて「わあ～すご～い」と感嘆の声。



その後、秋にふさわしい歌を合唱し、麦茶で喉を潤して終了しました。

一人では出来そうで出来ない簡単体操、脳トレですが、みんなと一緒にやってみるとなかなか楽しいものです。集会所には座椅子もそろい

足腰の弱い人も参加しやすくなりました。どうぞ交流を楽しみながら健康生活に役立てて頂ければと思います。お疲れ様でした。

(保健推進員)

上毛カルタ 「利根は板東一の川」

三国山脈に端を発し、関東平野を北西から南東へ斜めに横断、銚子付近で太平洋に注ぐ利根川。長さは322kmで日本では信濃川に次ぐ長さであるが、河川規模を示す流域面積は日本最大で、日本屈指の大河川といってよい。坂東太郎とも呼ばれ、筑後川(筑紫次郎)、吉野川(四国三郎)とともに日本三大暴れ川といわれている。「板東」は「東国」「関東」の意。

南町の西側を流れる現在の流れは、15世紀の前半(戦国時代が始まるころ)になったもの。それまでの利根川は、今の桃の木川と広瀬川とを覆い、現在の中央市街地を貫く形で流れていた。中央に中州があり、本町通りが南岸で、船着き場の跡(「舟つなぎ石」)が馬場川のところにある。

利根川は坂東太郎の異名にふさわしく「暴れ川」で、たびたび洪水・氾濫があった。18世紀半ば(江戸時代後期)に大洪水があり、厩橋城(前橋城)の天守閣を含む本丸が崩落、以後、厩橋城は幕末まで再建できずに、約100年間廃城となっていた。

最近でも、今年9月の大雨洪水「関東・東北豪雨」で、鬼怒川が利根川に合流する取手市(茨城県)付近の利根川河川敷が大水で埋まり水没化した。もう刃の剣……利根川の水は流域に豊かな恵みを与える一方、多くの水害もたらしてきたと云える。

グラウンドゴルフクラブ ビギナーズ・ラック

火曜と金曜が待ち遠しい。グラウンドゴルフの日だ。陽気の良い日ならばなおのこと、家でじっとしていられない。9時から始まる練習なのに、8時半には家を出る。グラウンドに着くと、



くじ引きで組分け

もうすでにホールポストが用意されていて、何人かがクラブを振っている。毎回 10 人ほど集まる。服装は気ままで、挨拶もそこそこにすぐ練習が始まる。気の置けない仲間だ。(現在、会員数 20 名)

2組に別れて練習する。1組が 4~5 人。休憩を挟んで 4 ゲーム、大体 11 時前には終わる。ホールインワンが 2 回以上あった人、スコアが 19 以下の人のが表彰される。

驚いたことに毎回 2~5 人いる。表彰が終われば解散だ。運動の後の心地よい疲れを利根川の瀬音が包む。身も心もスッキリするから不思議だ。

用具は備わっているので、身一つ運んで来さえすればすぐにできる。クラブにボールを当てるだけ、初心者に優しいスポーツだ。だんだんうまくなる、というより欲が出て病みつきになる。しかし、GG(グラウンドゴルフのこと、爺々ではない)を侮るなかれ。奥が深い。

それにもまして、みんなの顔を見、言葉を交わす、それがなによりの楽しみだ。三が日(お正月)を除いて休み無し。楽しいから続く。

(福島勝男)

赤ちゃん すくすく育って



11月27日、年2回開催される「すこやか健康教室」が六供町公民館で行われました。昨夜まで降り続いた雨が「赤ちゃん いらっしゃい～」と言わんばかりの秋晴れです。

3歳位までの赤ちゃんの健康相談、発育測定、ママの健康相談、そして保育士さんによる楽しい手遊び、リズム遊びなど。また歯の健康、歯ブラシの使い方について保健師さんから、丁寧な指導がありました。

南町一丁目からも6組（12名）のママと赤ちゃんが参加、年齢の近い子供さんを育てているママ同士、不安や心配な事なども話している様子が見受けられました。悩みを聞いたり聞かされたりしてママ友になり、地域のお仲間づくりにつながって行ければいいな～と思っています。

（保健推進員 福島広子）

“日頃の備え”が最大の防災、減災 南部地区にも地震の危険



人力による出・搬送



心肺蘇生、AED操作

11月14日（土）、南部地区自治会連合会・安心安全部会主催の防災訓練が、六供町集会所（雨天のため屋内）で行われました。南町一丁目からは防犯委員、民生委員など役員10名ほどが出席しました。

予期しない出来事は突然やってきます。今年は大雨による突風、竜巻があり台風も数多く発生しました。白根・浅間を含む日本全国の火山活動も活発化しています。災害への想定外の備えや対策が必要急務となっています。

自助…はじめに前橋市危機管理室の樋口さんから、前橋の地震の危険性について説明がありました。南部地区の地下には「深谷断層帯（活断層）」がはしっていて、地震が発生すればM8.1、南部地区では震度6弱の地震が想定されるそうです。震度6弱の地震があると、約1割の家が損壊、全壊家屋も多数に上ることです。地震の死者のほとんどが圧死によることから、まず家具の転倒防止策などを施すことの重要性を強調していました。

共助…その後、前橋中央消防署員らの指導により、簡易担架の作成や人力による出・搬送方法、災害時の応急手当（心肺蘇生、AED操作など）の実地訓練が行われ、参加者は終始真剣な面持ちで訓練に臨んでいました。

最後に、炊き出し訓練で炊飯されたアルファー米を試食し終了しました。

第5回 町内組別対抗三世代交流グラウンドゴルフ大会

今年も恒例となりました、第5回町内組別対抗三世代交流グラウンドゴルフ大会が、11月28日（土）に開催されました。寒冷も急に加わり天候も心配されましたが、暖かく穏やかな日差しの中、町内グラウンドゴルフ部の日頃から腕に磨きを掛けた方々を中心に、各組自治会から育成会低学年の初心者までが参加し、私自身も腕が未熟な分気持ちだけは前向きに、毎年好成績の3組さんを目指して今年こそはと意気込んで参加しました。

三世代交流にふさわしく、各組の皆さんのが初心者や育成会の子供達にアドバイスしながらコースを回る姿に、南町一丁目自治会の雰囲気を垣間見る事が出来、時折「あ、おいしい！」と喚声の上がる中、賑やかに楽しく過ごすことが出来ました。そんな中、皆さん年々腕を上げている方もおり、育成会の作道さんもホールインワン！ 子供に負けじと、何と私自身も「あ、入っちゃった！」まさかの偶然の連続に、スポーツ推進委員の面目を保つ事が出来たかな？

夢中で過ごし、世代交流にふさわしい競技で運営・参加に携わることが出来て良かったと思えた一日でした。終わりに、今大会の運営にあたり自治会を始め、各団体の方々の御協力に対し感謝申し上げるとともに、今後も益々盛大に開催して多くの方々のご参加がいただけるようお願い申し上げます。なお、大会結果については以下のとおりです。

(スポーツ推進委員 吉尾 文仁)

大会結果

参加人員 34名 (大会役員5名含む)

順位	団体の部	個人の部 (大人)	個人の部 (子供)
第1位	4組 (106打)	4組 吉尾 文仁 (32打)	西田 奈月 5年 (65打)
2	3組 (134両)	4組 藤井 久隆 (37両)	桑原 瞳優 3年 (66両)
3	7組 (138両)	4組 辺見 利夫 (37両)	作道 露紗 2年 (73両)
4		7組 加川 幸宏 (40両)	桑原 心香 1年 (77両)
5		2組 土屋 洋 (41両)	浅川 紗希子 2年 (77両)

特別賞：作道 美咲 6年 (49打) 育成会

ホールインワン賞

1組	本田 明男 1回 自治会
2組	今井 積雄 1回 自治会
4組	藤井 久隆 1回 自治会
4組	辺見 利夫 1回 自治会
4組	吉尾 文仁 3回 自治会
1組	作道 美咲 1回 育成会



お祭り写真展 出品写真募集中

南町一丁目祭りの写真展を開催します。現在、出品作品を募集しています。

・出品していただく写真：

1. 今回のお祭りに関する写真であれば、何でも結構です

2. 写真のサイズはA4以上の大きさで、展示できる額に入ったもの。

3. 一人2点以内。

・応募方法：12月19日（土）までに、

自治会・成年会・子供育成会・カメラクラブまで写真を提出して下さい。

* 作品には写真の裏面に鉛筆で出品者の名前を記入して下さい。

・写真展：12月20日（日）（町内餅つき大会の日）に、集会所前に展示します。

* 作品は展示会終了後、提出していただいた団体よりお返しいたします。

・優秀写真の表彰：最優秀賞1点、優秀作品2点、佳作2点

* 審査は祭典委員会の役員が行います。

行事計画（平成27年12月～28年3月）

	行事等	関係団体
12月	愛護会役員公園清掃（6日） ふれあい会食会（10日） 上毛かるた練習（11～18日） 「南町一丁目だより」発行（24号） 廃品回収（20日） 町内餅つき大会（20日） 生け花講習（生涯学習）（28日） 歳末防犯パトロール（25～30日）	1号公園愛護会 児童民生委員、保健推進委員、寿会 育成会 編集委員 育成会、成年会 成年会、寿会、育成会 生涯学習奨励員
1月	南一いきいきサロン（10日） 上毛かるた練習（7～14日） 桃井地区上毛かるた大会（17日）	児童民生委員、保健推進委員、寿会 育成会 育成会、体育推進委員
2月	味噌造り講習会（生涯学習）（7日） 南一いきいきサロン（10日） 廃品回収（21日）	生涯学習奨励員 児童民生委員、保健推進委員、寿会 育成会、成年会
3月	南一いきいきサロン（10日） 桃井地区グラウンドゴルフ大会（22日）	児童民生委員、保健推進委員、寿会 体育推進委員、南一グラウンドゴルフクラブ、育成会

編集後記

南町公園の今年最後の清掃が、公園愛護会の手で行われました(12/6)。散り積もった落葉をかき集め、きれいに片付と、二羽のセキレイが下りてきて、長い尾で乾いた土を叩いていました。南町公園は、現在、改築工事中の一中生の運動場ともなっています。公園清掃、一年間ご苦労様でした。

(編集委員／生涯学習奨励委員 福島 勝男)

30余年の歴史ある南町一丁目祭り、新しい世代へと伝え続けられていくことを切望してます。

<http://www.ops.dti.ne.jp/~yanaka/3731/>

(編集委員 谷中 勝)